

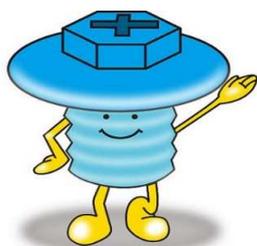
2018年版

環境報告書



2019年6月

日東精工株式会社



「私達は、環境にやさしい企業を築くため、

みなで努力して行動します」

目 次

ご挨拶	2
会社概要	3
環境方針	4
環境管理体制	5
環境目的目標	6
環境目標実績	7
環境活動	8
環境コミュニケーション	10
環境管理コスト	11
環境品質保証	12
省エネルギー活動	13
水質汚濁物質	14
廃棄物量・リサイクル率	15

報告書の対象範囲

1. 報告書の対象範囲は本社工場、八田工場、城山工場、制御システム工場です。
2. 報告期間は、2018年1月1日～2018年12月31日です。
3. 報告対象は環境分野です。



ごあいさつ

「環境報告書2018年度」を発行するにあたり一言ご挨拶申し上げます。

日東精工がこの綾部の地におきまして、1938年創業以来、2018年2月には80周年を迎えることができました。永きにわたり事業活動が継続できますのも皆様方のご支援、ご協力の賜物であり、深く感謝申し上げます。2018年度を振り返ってみると、多くの自然災害が発生し、西日本を中心に広い地域を襲った7月の豪雨の際には、全国で200人を超える犠牲者がありました。また、大規模の地震や火山の噴火と数々の自然災害が発生し、甚大な被害をもたらし、大きな経済的損失がありました。地球温暖化は平均的な気温上昇のみならず、異常高温や大雨など様々な気候の変化を伴います。自然・社会・経済にも深刻な影響が生じ、地球温暖化問題に真剣に取り組んでいく必要があります。

近年は環境保全への取組みを企業経営の最優先事項の一つとして位置づけ「私達は環境にやさしい企業を築くため、みんなで努力して行動します」をスローガンに、地域環境と地球環境を念頭におき、地球温暖化防止、環境負荷と環境リスクの低減に努めています。

今年度から新しい中期経営計画「NITTOSEIKO Mission”G”」がスタートしています。この中期経営計画は10年間の長期経営計画のファーストステージの4年間であり、10年後のグループビジョンである、「世界中で認められ、求められる『モノづくりソリューショングループ』を目指す」ための大切な第一ステップとなるものです。ステークホルダーの皆様にご評価され、信頼されるグループになることを目指します。

2018年の環境報告書では、当社が実践した環境貢献の代表的な事例を中心に紹介しています。私どもの日ごろの環境活動の一端をご理解いただき、取り組みや活動につきまして、ご意見いただけましたら幸いです。

2019年6月吉日



代表取締役社長
材木 正己

会社概要

(2018年12月31日現在)

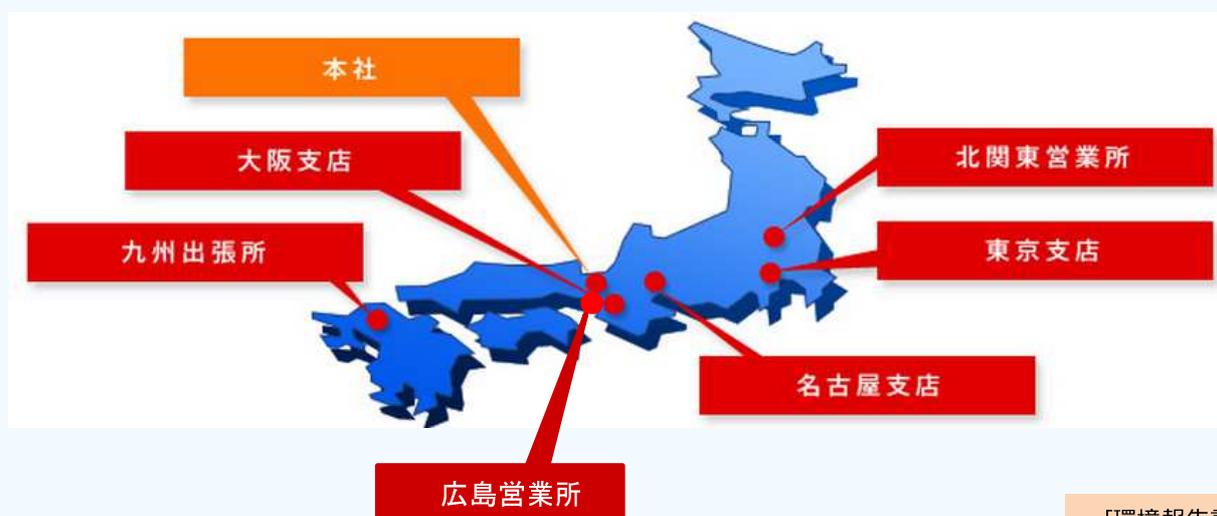
社名 日東精工株式会社 NITTO SEIKO CO.,LTD
 所在地 本社／623-0054京都府綾部市井倉町梅ヶ畑20番地
 代表者 代表取締役社長 材木 正己
 設立 1938年2月25日
 資本金 3,522百万円
 従業員数 1,830名(連結) 545名(単体)
 主要生産品目 極小ねじ、精密ねじ、タップタイトねじ、特殊冷間圧造部品、ピン及びリベット
 ねじ製造用工具
 自動ねじ締め機、自動組立機、産業用ロボット、ドライバ、ねじ供給機
 各種流量計、地盤調査機(ジオカルテ)、検査装置

売上高推移(連結)

単位:百万円



国内拠点



環 境 方 針

環 境 基 本 方 針

企業活動を展開する上において、環境保全を最重点とし、地域環境と地球環境を守り、社会と調和して豊かな社会の実現に貢献することを目的とします。

基 本 理 念

地域社会と共存共栄を図り、環境に対しては先手を打ち、環境にやさしい、環境に負荷を与えない取組みを実践し、社会に信頼していただける会社を築いていきます。

行 動 指 針

1. 法的要求事項及び関係するその他の要求事項を遵守し、汚染予防に努めます。
2. 省エネルギー、省資源に努めます。
3. 廃棄物の減量化とリサイクルの推進に努めます。
4. 地球環境に影響を与える物質の削減に努めます。
5. 商品・サービスの提供にあたっては、環境影響に十分配慮します。
6. 環境意識の向上を図り、全員で取組みます。
7. 地域との共栄を図り、社会への貢献と信頼を得るよう努めます。

社 長 コ ミ ッ ト メ ン ト

当社は事業活動として、工業用ファスナー・自動組立機械・計測制御機器等の製造販売を行い、社会に貢献していきます。その事業活動を行うにあたり、環境保全への取組みを企業経営の最優先事項の一つと位置づけ

「私達は、環境にやさしい企業を築くため、
みんなで努力して行動します」

をスローガンに、経営層をはじめ全従業員が地域環境と地球環境を念頭におき、地球温暖化防止、環境負荷と環境リスクの低減に努めます。

1. 事業活動、製品について環境影響評価に基づき、環境管理活動を技術的・経済的に可能な範囲で、全員で取組み、環境目的および環境目標を設定、推進し、汚染の予防と継続的な改善・向上に努めます。
2. 環境保全に関する法令と、当社が同意したその他の要求事項を遵守します。
3. 地域との共生を図り地域への貢献と信頼を得るよう努力します。
4. 環境方針は掲示し、全従業員と組織で働く全ての人々に環境カードを配布し、周知徹底を図ります。

この環境方針は、社内外に公表します。

2019年 1月 1日
代表取締役社長 材木 正己

ISO14001 認証登録経過

2000年5月 本社工場・八田工場ISO14001:1996認証登録

2005年5月 本社工場・八田工場ISO14001:2004移行登録

2008年7月 城山工場・制御システム工場ISO14001認証登録

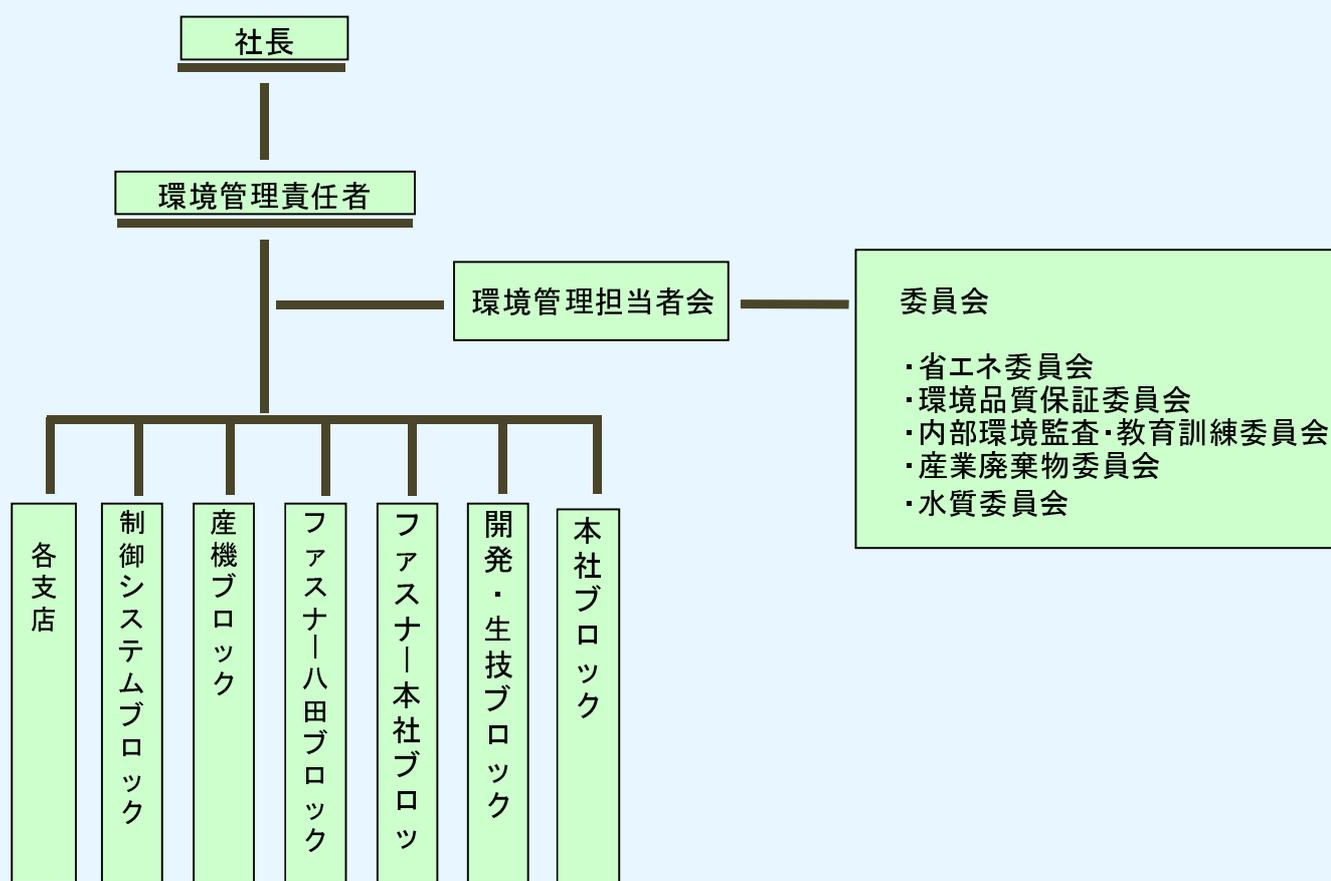
2018年4月 本社工場・八田工場・城山工場・制御システム工場
ISO14001:2015移行登録

全ての工場において環境管理システムを推進中です。

環境管理体制

社長以下、環境管理責任者のもと、各部門において、環境管理活動を展開しています。

また全社の委員会として、環境管理担当者会議、専門委員会として各推進委員会を設置し、目的目標の達成に向けた活動を行い、各部門で展開しています。



環境目的目標

日東精工 環境目的

2019年 1月 1日制定

日東精工株式会社の環境目的・目標を以下に定める。

日東精工株式会社
代表取締役社長 材木 正己

環境目的の策定	
環境方針に基づき、2019年から4年間の環境目的を策定する	
環境目的	
<ul style="list-style-type: none"> 1. 地球温暖化の防止 <ul style="list-style-type: none"> ・省エネルギー化の促進 ・CO2排出量の削減 2. 循環型社会の形成 <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の削減と6R推進 3. 製品環境性能の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・環境配慮型製品の拡大 ・グリーン調達の推進 ・製品含有化学物質管理の強化 4. 環境汚染の予防 <ul style="list-style-type: none"> ・地下汚染対策の強化 ・水質汚濁防止の強化 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【2019年の地球温暖化防止目標値】</p> <p>CO2総排出量 7,161.5t-CO2以下/年 CO2排出削減量 132.5t-CO2/年</p> <p>『原単位』 前年比1%以上削減</p> </div>
環境目標	
環境目的に基づき 2019年の環境目標を定める	
<ul style="list-style-type: none"> 1. 2019年CO2総排出量を7,161.5t-CO2以下にする 生産量原単位を 対前年比 1% 削減する 2. 廃棄物排出量を削減する <ul style="list-style-type: none"> (1) 6Rの推進 (リデュース、リユース、リサイクル、リファイン、リペア、リフューズ) (2) 工程内及び完成品不良の削減 『原単位』 (1) 生産量原単位を 対前年比 3% 削減する 3. 環境経営を推進する <ul style="list-style-type: none"> (1) パフォーマンス改善重視・法令遵守・環境意識の醸成 4. 環境配慮型製品(エコプロダクツ)を拡大する <ul style="list-style-type: none"> (1) 環境性能を向上した製品設計・開発 5. グリーン調達を推進する <ul style="list-style-type: none"> (1) 環境負荷がより少ない物品調達 6. 製品含有化学物質管理を強化する <ul style="list-style-type: none"> (1) 適切な管理 7. 地下汚染対策及び水質汚濁防止を強化する <ul style="list-style-type: none"> (1) 排水施設、貯油液施設、薬液類の管理強化 (2) 緊急事態対応マニュアルの整備と訓練実施 	



環境目標と実績

環境目的	2018年環境目標	2018年活動実績	
地球温暖化の防止	<ul style="list-style-type: none"> 温暖化物質の削減 (CO2排出量の削減) 排出目標 : 6,871 t 原単位目標 : 0.46	CO2排出量実績 : 7,131t × 原単位実績 : 0.40 ○	
	<ul style="list-style-type: none"> 電力の削減 消費目標 : 13,680千kWh 原単位目標 : 0.86	消費実績 : 15,300千kWh × 原単位実績 : 0.87 ×	
	<ul style="list-style-type: none"> 灯油消費量の削減 消費目標 : 284.0kℓ 原単位目標 : 1.78	消費実績 : 64.4kℓ ◎ 原単位実績 : 0.36 ◎	
	<ul style="list-style-type: none"> LPG消費量削減 消費目標 : 315 t 原単位目標 : 1.98	消費実績 : 386 t × 原単位実績 : 2.18 ×	
循環型社会の形成	廃棄物排出量の削減 (汚泥・廃アルカリ) 排出目標 : 409t 原単位目標 : 2.52	排出目標 : 388t ○ 原単位実績 : 2.20 ○	
	排水配管、構内側溝の点検清掃実施	計画通り実施	
	環境汚染予防	工業排水・地下水水質監視	計画通り実施
		緊急事態対応マニュアルの整備と訓練実施	計画通り実施



環境活動

環境活動

外部監査

3月に外部認証機関によるISO14001:2015移行・更新審査を受審し、審査登録要求事項に適合していることが認められました。

内部監査

10月から11月にかけて、社内認定内部監査員による内部環境監査を実施しました。38の部門・ブロック・各委員会全て内部監査を行い、環境管理システムの運用状態等PDCAサイクルが機能しているかの確認を行いました。

環境教育

環境教育実施項目

- ・新入社員教育
- ・一般教育
- ・内部環境監査員教育
- ・管理監督者教育
- ・特定業務従事者教育

防災訓練

各工場において、緊急事態を想定した防災訓練を実施しました。



環境法遵守

環境設備	水質及び大気に係る特定施設の届出を行うとともに、地下浸透防止など環境に配慮した設備導入、維持管理に努めています。
環境測定	大気、水質、騒音、振動測定を定期に実施しています。全て京都府条例基準を遵守しています。
報告書	エネルギー指定工場、産業廃棄物年次報告、PRTR年次報告、京都府地球温暖化対策条例年次報告など全て届け出を行っています。
廃棄物	一般廃棄物・産業廃棄物は全て適正処理を行っています。

環境リスク

温暖化物質削減への対応

水銀灯及び蛍光灯を省エネ型照明器具(LED)に切り替えや空調機においても省エネ型に更新を進めています。

工場排水

工場排水基準として、自主基準値を設定し、水質測定を実施しております。基準値の超過はありませんでした。

緊急時対応

火災や地震、薬品、油類の漏洩を想定し、毎年訓練を行っています。

化学物質管理

商品へ影響をする有害物の使用は全廃しました。購入時点での安全データシート等の管理を徹底し、工程内に有害物汚染がないように管理をしています。

環境リスク管理

本社工場浄水場側溝等周辺の定期清掃を行っています。

土壌汚染・地下水汚染、騒音、大気放出などの問題の発生を予測し、事前に対応し、リスク回避に努めています。



環境コミュニケーション

○環境報告書は、会社ホームページにて公開しています。

アドレス <http://www.nittoseiko.co.jp/>

○地域連絡会

地域との環境対応を進める目的で、自治会関係者の方々に出席いただき毎年開催しています。

○環境活動

4月に開催される綾部市シルバー人材センター主催の由良川花壇展に参加しています。

毎年6月と11月に上林地区の森林でモデルフォレスト活動を計画し、間伐の際の伐倒作業の方法等を研修しています。(11月は悪天候で中止になりました。)

○奉仕活動

例年、地域の清掃活動や「あやべ良さ来い」おどり、夏まつりに参加していますが、2018年は悪天候で中止になりました。

小学生を対象としたサマースクールを開催しました。



モデルフォレスト活動



由良川花壇展



サマースクール

環境管理コスト

対象期間: 2018年 1月 1日~2018年12月31日

(単位: 千円)

	投資額	費用額	合計	主な内容
公害防止	450	13,866	14,316	大気汚染防止 水質汚濁防止 土壌汚染防止 騒音防止 その他の公害防止
地球環境 保全	7,002	14,674	21,676	地球温暖化防止及び省エネルギー オゾン層破壊防止 その他の地球環境保全
資源循環	0	11,065	11,065	資源の効率的利用 一般・産業廃棄物のリサイクル等 一般・産業廃棄物の処理・処分 その他の資源循環
上・下流				
管理活動	31,650	29,349	60,999	環境マネジメントシステムの整備、運用 環境情報の開示及び環境広告 環境負荷監視 従業員への環境教育等 事業所及事業所周辺の緑化、美化等
研究開発	162,711	72,168	234,879	環境保全に資する製品等の研究開発 製品等の製造段階における環境負荷の抑制のための研究開発 その他、物流段階や製品等の販売段階等における環境負荷の抑制のための研究開発
社会活動	0	122	122	事業所及び事業所周辺を除く自然保護、緑化、美化、景観保持等の環境改善対策 地域住民の行う環境活動に対する支援及び地域住民に対する情報提供等の各種の社会的取組
合計	201,813	141,244	343,057	



環境品質保証

環境品質保証に関する方針

基本理念

日東精工株式会社は、地球環境の環境保全を優先課題の一つとして強く認識し、企業活動のあらゆる面で環境問題に配慮して行動し、社会の発展に貢献する。生産に関わる部品、材料、製造工程における地球環境への影響を配慮し、環境にやさしい製品の提供を行う。

環境品質保証に関する方針

日東精工株式会社は「顧客に対し最大の満足を提供する」をビジョンとし、事業活動に関わる環境品質保証の物質を以下のように定め使用禁止、全廃を図る。

1. 使用禁止物質

- ①カドミウム及びカドミウム化合物
- ②PBB（ポリブロモビフェニル）類及びPBDE（ポリブロモジフェニルエーテル）類
- ③PCB（ポリ塩化ビフェニル）類
- ④ポリ塩化ナフタレン類
- ⑤有機すず化合物（トリブチルスズ類・トリフェニルスズ類）
- ⑥石綿（アスベスト）
- ⑦アゾ化合物（分解によりアミンは発生する可能性があるもの、人体に持続的に触れることを前提として作られた製品の人体接触部分）
- ⑧ホルムアルデヒド
- ⑨塩素系有機溶剤（ジクロロメタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1, 2, 2-トリクロロエタン、1, 2-ジクロロエタン、1, 1-ジクロロエチレン、シス-1, 2-ジクロロエチレン、クロロホルム等）
- ⑩HCFC（代替フロン）類
- ⑪POPs（残留性有機汚染物質）（PFOA、PFOS等）

2. 全廃物質

- ①水銀および水銀化合物
- ②PVC（ポリ塩化ビニル）及びPVC混合物
- ③PBB、PBDE以外の有機臭素化合物（臭素系難燃剤）
- ④塩素化パラフィン（塩素系難燃剤・可塑剤）
- ⑤鉛および鉛化合物
- ⑥六価クロム化合物

日東精工株式会社は上記環境管理物質に該当する物質が発生した場合、使用禁止、全廃の措置をとる。尚、環境品質保証の全廃の期限を「別紙 環境品質保証全廃・削減計画表」に記し徹底する。この環境品質保証に関する方針は全社員に周知すると共にユーザー先からの要求に対して開示する。

環境品質保証システム

環境品質経営責任者をトップに環境品質保証体制を確立しています。原材料や購入品の調達においては、有害物質が含有しないように、受入検査を実施し、製造工程では、使用する薬品や補助材料、機械装置からの汚染がない仕組みを、出荷検査は、有害物質の含有がないことを保証する仕組みを確立しています。

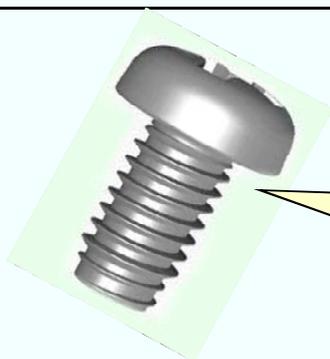
管理項目

- ・取引先との品質環境協定書の締結
- ・購入品の不使用証明書、エビデンスの入手
- ・内部環境品質監査の実施
- ・トレーサビリティの管理
- ・環境品質教育の実施
- ・不適合・是正の管理
- ・法規制及びユーザ基準の遵守

環境品質保証の対象物質

法規制及びユーザ基準に定められた含有禁止物質は使用していません。

- ・ELV・RoHS指令物質
- ・REACH規制対象物質
- ・POPs条約物質
- ・ユーザグリーン調達ガイドラインに定める物質



環境品質保証製品の提供

有害物質を入れない、使わない、出さないの

省エネルギー活動

二酸化炭素排出量(t-CO₂)



地球温暖化物質の削減(CO₂排出量の削減)を目的として、電力消費量の削減、灯油消費量の削減、製品不良率の削減、産業廃棄物の削減に取り組んできました。結果として、二酸化炭素の排出量は前年度比533t-CO₂の減少、原単位としても0.05ポイント減少しました。



太陽光設備の設置

前年に引き続き、工場や事務所内の水銀灯、蛍光灯のLED化、省エネタイプの空調機、生産設備の更新を進めて参りました。また、本社中空工場に遮熱塗装を施し、室内の温度上昇を抑制しています。9月に制御システム工場、10月に本社西工場に太陽光発電設備を設置し、自家発電・自家消費を開始しました。

電力量の削減

電力消費量(万 kWh)



照明のLED化

燃料の削減

燃料消費量(kℓ)

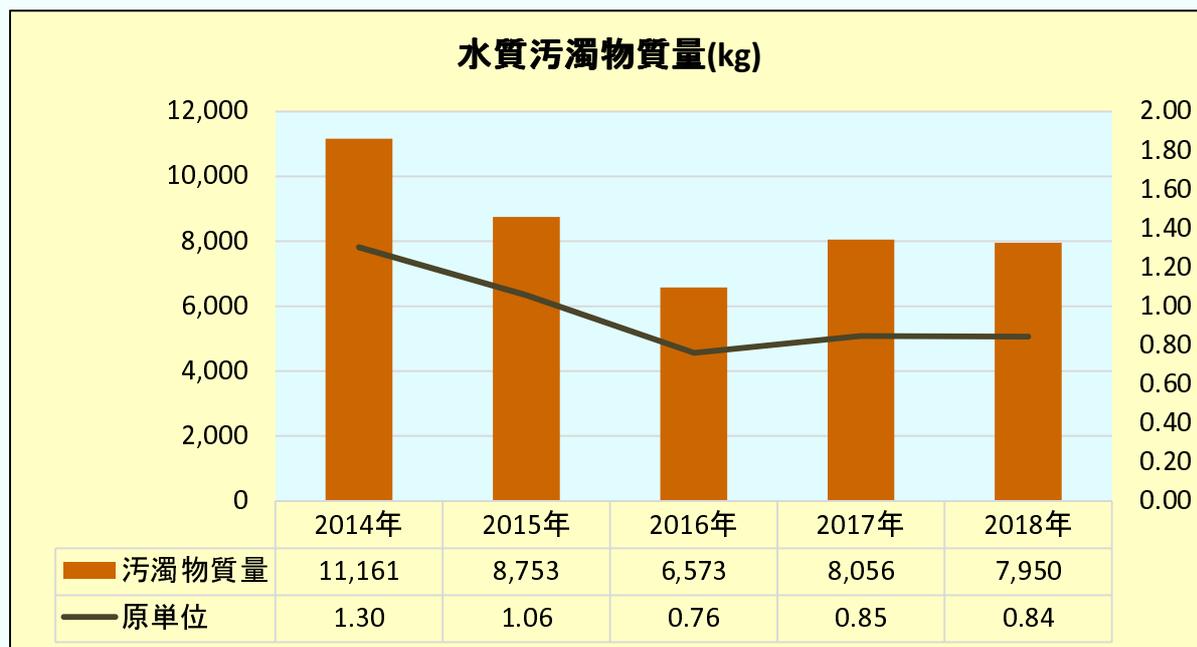


灯油暖房機から省エネタイプの空調機に転換したことで、灯油消費量は前年比で75kℓ削減できました。原単位においても0.62ポイント減少しました。



省エネ型空調機

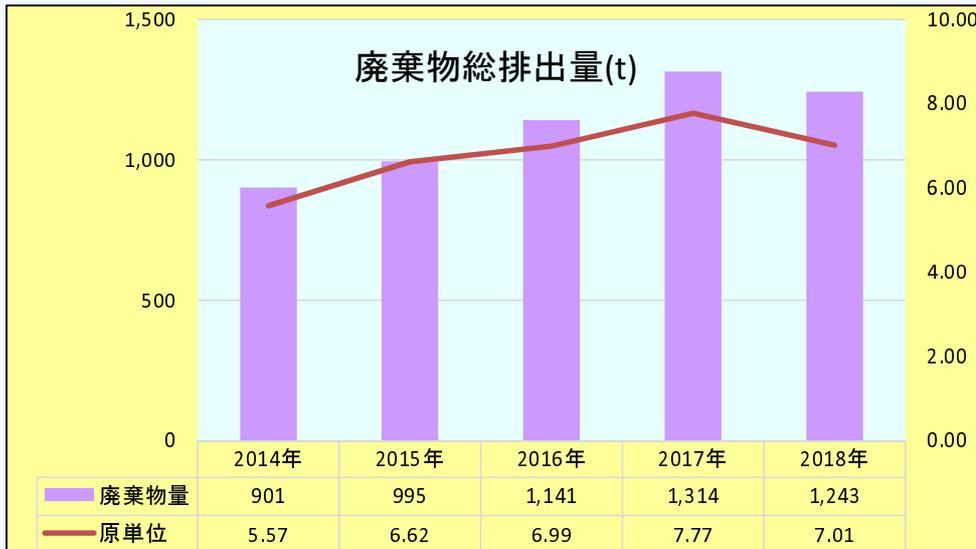
水質汚濁物質



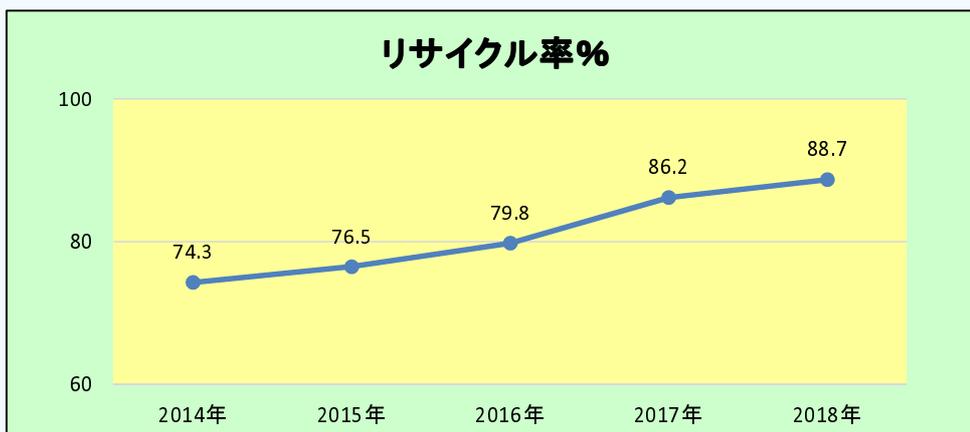
2018年度実績は汚濁物質と原単位共に、前年を下回る実績となりました。継続して自主排水管理基準内での安定化を図っていきます。

測定項目	測定値(mg/l)	
	平均値	最大値
水素イオン濃度(PH)	6.80	7.69
生物学的酸素要求量(BOD)	10.29	16.90
浮遊物質(SS)	2.67	5.00
n-ヘキサン抽出物質(鉱物油)	<2.00	<2.00
六価クロム	-----	<0.04
全クロム	0.07	0.44
亜鉛	0.94	3.32
ニッケル	0.39	1.11
銅	0.02	0.07
溶解性鉄	0.28	0.77

廃棄物総排出量



2018年においても、汚泥や廃アルカリ、工程内不良による廃棄品の削減に取り組み、結果として、廃棄物量は前年比で71t減少し、原単位も0.76ポイント改善しました。



埋め立て廃棄物の減量、廃油、廃アルカリ等の再生利用に取り組んでいます。今後においても、廃棄物削減、リサイクル率を高めるという意識の向上を図っていきます。

国内拠点

本社	〒623-0054 京都府綾部市井倉町梅ヶ畑20 TEL(0773)42-3111
ファスナー事業部 本社工場	〒623-0054 京都府綾部市井倉町梅ヶ畑20 TEL(0773)42-8020
ファスナー事業部 八田工場	〒623-0116 京都府綾部市下八田町菩提10 TEL(0773)42-3125
産機事業部 城山工場	〒623-0003 京都府綾部市城山町2 TEL(0773)43-1550
制御システム事業部	〒623-0041 京都府綾部市延町野上畑30 TEL(0773)42-3151
東京支店	〒223-0052 横浜市港北区綱島東6-2-21 TEL(045)545-3313
北関東営業所	〒370-0523 群馬県邑楽郡大泉町吉田1221-3 TEL(0276)63-8158
大阪支店	〒578-0965 東大阪市本庄西1-6-4 TEL(06)6745-8357
名古屋支店	〒465-0025 名古屋市名東区上社5-405 TEL(052)709-5061
広島営業所	〒732-0052 広島市東区光町1丁目12-20 TEL(082)207-0622
九州出張所	〒812-0897 福岡市博多区半道橋1-6-46 TEL(092)411-1724

日東精工株式会社

ホームページ
環境報告書に関する
お問い合わせ先

<http://www.nittoseiko.co.jp/>
生産技術部生産技術課
e-mail:kankyo@nittoseiko.com

